

半世紀前の記憶

半世紀にわたる三芳町の軌跡を振り返るとともに、三芳で生まれ、三芳で育った2人に半世紀以上前の記憶と昔の思い出を伺いました。

昭和	平成	令和
昭和40年(1965)	平成元年(1989)	令和2年(2020)
昭和43年(1968)	平成2年(1990)	令和元年(2019)
昭和44年(1969)	平成3年(1991)	平成30年(2018)
昭和45年(1970)	平成4年(1992)	平成元年(2018)
昭和46年(1971)	平成5年(1993)	平成2年(2017)
昭和47年(1972)	平成6年(1994)	平成30年(2018)
昭和48年(1973)	平成7年(1995)	平成元年(2018)
昭和49年(1974)	平成8年(1996)	平成2年(2017)
昭和50年(1975)	平成9年(1997)	平成30年(2018)
昭和51年(1976)	平成10年(1998)	平成元年(2018)
昭和52年(1977)	平成11年(1999)	平成2年(2017)
昭和53年(1978)	平成12年(2000)	平成30年(2018)
昭和54年(1979)	平成13年(2001)	平成元年(2018)
昭和55年(1980)	平成14年(2002)	平成2年(2017)
昭和56年(1981)	平成15年(2003)	平成30年(2018)
昭和57年(1982)	平成16年(2004)	平成元年(2018)
昭和58年(1983)	平成17年(2005)	平成2年(2017)
昭和59年(1984)	平成18年(2006)	平成30年(2018)
昭和60年(1985)	平成19年(2007)	平成元年(2018)
昭和61年(1986)	平成20年(2008)	平成2年(2017)
昭和62年(1987)	平成21年(2009)	平成30年(2018)
昭和63年(1988)	平成22年(2010)	平成元年(2018)
	平成23年(2011)	平成2年(2017)
	平成24年(2012)	平成30年(2018)
	平成25年(2013)	平成元年(2018)
	平成26年(2014)	平成2年(2017)
	平成27年(2015)	平成30年(2018)
	平成28年(2016)	平成元年(2018)
	平成29年(2017)	平成2年(2017)
	平成30年(2018)	平成30年(2018)
	令和元年(2019)	令和元年(2019)
	令和2年(2020)	令和2年(2020)

新しくできた地区

みよし台

富士見市のみよし台土地区画整理事業に伴って昭和50(1975)年に開始された、三芳みよし台土地区画整理事業により誕生しました。新町名は、東武東上線の「みよし台」駅から名前を取り「みよし台」となりました。

竹間沢東

昔は水田でしたが三芳町竹間沢第一土地区画整理事業が行われ、工業団地になっています。新町名は①元々の地名「竹間沢」を残す②地図で見て一番東にある③竹間沢にある字名(北側、南側、通西)に方位の「東」がないことから「竹間沢東」に決まりました。

三芳の宝!文化財

郷土芸能



三富新田 など

土器・石器





先人から受け継がれた歴史文化を未来へ伝えていくため、今日まで大切に守られてきた三芳町の文化財。その一部は歴史民俗資料館の展示で見ることができます。(P9 左上の案内参照)

川越街道の東側は畑が広がり、鶴瀬駅まで見渡せた。



川越街道は昔、車線が狭くて事故が多く、車が家のブロック塀を突き破ってきたこともあり。村時代の藤久保は、川越街道の東から鶴瀬駅までずっと畑が広がって東西に通る道がほとんど無く、交通の面で不便があったように思います。私はご縁あって区画整理に携わってきました。きっかけは、ちょうど三芳町になる頃、川越の区画整理で何もない畑の中に道や区画ができていくのを見たことです。それから50年以上、三芳町が変わっていく姿を見てきましたが、道が広がり、新しい道ができて整備がずいぶん進んだと思います。これからも未来を見据えて地域全体を考えた、住みやすいまちづくりが進んでほしいですね。

町制施行当時 17歳 江原 弘志さん(藤久保在住)



昭和45(1970)年頃撮影
藤久保交差点近くから川越街道の東側、鶴瀬駅方面を写した写真。建物が少ないのが印象的。

昔から地域のつながりが強いのが、三芳の魅力。



昭和28(1953)年撮影
北永井囃子保存会で初めて山車を作った時の写真。町制施行記念式典でこの山車から北永井の囃子が披露されました。

村時代の三芳は車通りが少なかったですね。そのためか町になってもしばらくは砂利道(未舗装道路)が多く、道路を直すときは隣近所でシャベルやらいろんな道具を持ってきて直していました。大変でしたが、そうやって地域で共同作業をやったことが、今の地域のつながりの強さに結びついていると思います。1970年の町制施行記念式典のことは、町内各地区のお囃子が一堂に会して披露した初めての機会でしたし、父が北永井のお囃子をやっていたので覚えています。町を挙げての初めてのお祭りでも多くの町民が集まって賑わいをみせていましたね。

町制施行当時 22歳 松本 正好さん(北永井在住)



▶オランダ柔道選手との交流の様子(2019)



▶旧島田家住宅開館(1996)



▶建設中の三芳東中(1977)



▶車人形復活公演(1972)



▶町制施行記念式典(1970)

